

読者の 思い

いつもお便り
ありがとうございます！
ごさいます！

お便りは
一部割愛させて
いただいております

先日、南日本新聞の「オセモノ」 特派員をしている孫の取材に 同行する機会を得ました。「第6垂水 丸の転覆事故」に関してNPOの川 崎さんから詳しく説明を受けました。 私も叔母といとこを亡くしました。 戦争中に起きた惨事を後世に伝える 機会に恵まれたことに感謝したいで す。垂水市でもこの事故があつたこ とを何らかの形で語りつぎ風化させ ない施策をお願いします。

【宮崎県在住／ガッチャマンさん／70
代男性】
ガッチャマンさん、お便りありが
とうございます。

次、帰省された際はぜひ体験してみ
てはいかがでしょうか。

ゆきだるまさんがおっしゃる通り、
垂水市をはじめ鹿児島県は、美味し
い食材が多く、食の宝庫です。周り
の方々にも自慢・PRしていただい
れば幸いです。

「十歳のつどろ」の特集を拜 読し、ビシッとしたスーッ

や色鮮やかな振袖姿の写真を見ます
と、約20年前の自分の頃を思い出し、
とても温かい気持ちになりました。
2002年の日韓サッカーW杯や垂
水大橋の開通セレモニーの写真も勉
強になりました。そして、記事の中
にある「はたちの主張」はとても気
持ちのこもった、熱い内容に、私自
身も若者にならって、まだまだ頑張
らなければと思いました。

（鹿児島市在住／T・Kさん／40代男性）

T・Kさん、お便りありがとうございます。
でございます。

ガッチャマンさんのお孫さんが取
材された2月6日の南日本新聞に掲
載された「オセモノ」の記事を私た
ちも拝見させていただきました。お
孫さんがおっしゃっていた通り、平
和な世の中で普通に生活できるのを
当たり前だと思わず、「第6垂水丸の
転覆事故」の事実と記憶を次世代に
もしつかりと伝えていかないとけ
ないと改めて考えさせられました。
現在、垂水市では、「第6垂水丸の
転覆事故」に関する当時の資料を垂
水市文化会館に常時展示しています。
また、地元の史談会が主催する特別
企画展が毎年2月に垂水市立図書館
で開催されています。今後も後世へ
事故の事実と記憶を語り継いでい
けるように関係団体と連携し、取り組
みを継続していきます。

【第6垂水丸の転覆事故とは】

1944（昭和19）年2月6日、
垂水汽船会社の第6垂水丸が、垂水
栈橋から鹿児島港へ渡航した際に、
沖合200メートルの地点で、方向

T・Kさんと同様、取材した私た
ちもそれぞれ、成人式や社会人とし
て歩み出した頃のことを思い出し、
改めて、熱い思いを持って仕事に取
り組もうと思つ機会となりました。

「はたちの主張」は、代表者4人が
まつすぐに気持ちのこもった素晴ら
しいもので、会場は大きな拍手に包
まれていました。共通していた内容
は、自然豊かな垂水市で多くの経験
ができたことや両親、先生、地域の
方々に支えられて成長できたとい
うことでした。これから、さまざま
困難にぶつかつてしまふこともある
かと思いますが、垂水市の自然や支
えてくださった方々の顔を思い出し
ていただき、さまざまな困難を乗り
越え、さらに成長してくださること
を願っています。そして、さまざま
な形で垂水市と関わってくださいた
ら嬉しい限りです。

T・Kさんも、お身体にお気を付
けて頑張ってください。これからの
ますますのご活躍を心からお祈り申
し上げます。

広報たるみずでは、皆様からのお便りをお待ちしております。
お便りをいただいた方の中から、抽選で素敵なプレゼントが当たります！
（詳しくは裏面をご覧ください。）

※個人情報の取扱い

個人情報は、お便りのご紹介、プレゼントの発送及び統計資料作成以外の目的では使用いたしません。

お便り&市長へのメッセージ

1 広報誌を読んだご感想や、市長・市政に対するメッセージなど何でも好きなことをお書きください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

2 お便りを紙面内でご紹介させていただいてもよろしいですか？ （はい・いいえ）

※ペンネーム記載の方はペンネームで、ご本名のみ記載の方はイニシャルでご紹介させていただきます。

※お便りはWEBサイト

からでも受付可能！
広報誌へのお便りは、垂水
市公式WEBサイトからでも
お送りいただけます！お便
りお待ちしております！



◎垂水市公式WEBサイト
⇒市政の動き⇒広報・広聴
⇒広報誌⇒広報誌お便り



▲旧垂水港にある「第6垂水丸転覆事故」の慰霊碑

第6垂水丸に
関する過去の
記事はこちら



転換中にバランスを失い転覆し、犠
牲者547人を出した事故です。当
時、船舶が軍用に引き上げられてい
たため、船の便数が減少していまし
た。事故当日は、定員342人に対
し、732人が乗船しており、会社
側は人数を制限しようとしたが、大
軍の意向によりそのまま出航し、大
惨事となったと言われています。

1 月初め帰省した際、道の駅は
まびらに寄りました。当日
は天気もよく、2階展望デッキに上
がると、右に桜島、左に開聞岳、下
を見下ろすと浜辺にカヤックを持っ
た人たち。この素晴らしい景色を主
人に自慢しつつ買物を済ませました。
鹿児島、垂水も肉も野菜も焼き
いもも・・・食べ物も美味しく本当
に自慢の故郷です。

ゆきだるまさん、お便りありがと
うございます。垂水へおかえりなさい。
私も道の駅たるみずはまびら（た
るたるはあく）の2階展望デッキか
ら見る景色は、とても好きで、多く
の方々にも見ていただきたい垂水市
の絶景スポットです。また、道の駅
たるみずはまびら（たるたるはあく）
前の浜辺では、ゆきだるまさんが目
にされたカヤックやSUP等が体験
することができるとマリナーパーク垂水
が併設されています。